

## 令和5年度 第4回櫛引地域振興懇談会（会議録・要旨）

1 日 時：令和6年3月14日（木） 午後2時から午後4時まで

2 会 場：櫛引庁舎 第1会議室

3 出席者：敬称略

（出席委員） 釧持 孝文、遠藤 守、釧持 康光、安野 良明、奥山 和行、五十嵐 誠一、  
佐藤 正幸、秋山 彌里、清和 ふみ子、本間 与一、宮城 妙、馬場 合、  
叶野 由佳

（欠席委員） 上野 由部、渡会 美香

（市 側） 櫛引庁舎支所長 佐藤 友志、総務企画課長 遠藤 直樹、  
市民福祉課長 佐藤 栄一、産業建設課長 斎藤 秀一郎、  
総務企画課課長補佐（兼）地域まちづくり企画調整主査 河井利恵子、  
市民福祉課課長補佐 佐藤 千冬、産業建設課課長補佐 佐藤 隆一  
総務企画課未来事業推進員 伊藤 由美  
企画部 地域振興課地域振興専門員 齋藤 眞一

4 次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

（1） 櫛引地域コミュニティ検討ワークショップについて（資料1）

（2） 鶴岡市第2次総合計画後期計画地域振興の章[櫛引地域]（最終）（資料2）

4. 懇 談

（1） 櫛引地域振興計画（最終案）について（資料3）

（2） 令和6年度櫛引庁舎重点施策（未来事業含む）について（資料4・参考資料）

（3） その他

5. そ の 他

6. 閉 会

5 会議資料

- ・ 【資料1-1～1-4】 櫛引地域コミュニティ検討ワークショップについて
- ・ 【資料2】 鶴岡市第2次総合計画後期計画地域振興の章[櫛引地域]（最終）
- ・ 【資料3～3-2】 櫛引地域振興計画2024年度▶2028年度（最終案）
- ・ 【資料4】 令和6年度櫛引庁舎重点施策について

・・・・・・・・・・・・・・・・ 委員より意見・質問 ・・・・・・・・・・・・・・・・

3. 報告

- （1） 櫛引地域コミュニティ検討ワークショップについて
- （2） 鶴岡市第2次総合計画後期計画地域振興の章[櫛引地域]（最終）

### 【D委員】

- （1） の櫛引地域のコミュニティ検討ワークショップに、生活支援コーディネーターを参加メ

ンバーに入れてほしい。

#### 【総務企画課長】

来年度 2 回ワークショップを予定しているので、福祉センターの方にもご案内する。

#### 【J 委員】

榊引地域のワークショップに参加したが、大人数の方が集合して話せる機会はあまりなかったので良い機会だった。来年度も 2 回あるというので期待している。

1 点、ウのコミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進計画というところで、福祉の部分が少ないが、これで足りているのか。

榊引地域振興計画の 4 ページ目に、SDGs の実現を目指すという、誰一人取り残さず市民が本当に幸せだと思えるまちの実現という視点が入っているということだが、榊引の福祉の取組みの記載が少ないと感じるがどうか。

#### 【市民福祉課長】

総合計画の榊引部分に福祉の取組が少ないのではないかという意見だが、基本的に福祉の部分については本体の方に記載しているため、ここでは特に榊引部分ということで記載している。

#### 【支所長】

どの地域も同じようにやっているものは、総合計画の本体部分に記載している。地域振興計画には榊引独自の取組みを記載することになるので少ないという印象になる。

#### 【J 委員】

少ないという意見ではなく、十分かどうかというのを伺いたい。地域振興計画には文言も入っているので、そこにもっと記載すべきではないのか伺いたかった。

#### 【市民福祉課長】

資料 2 についてはこの通りで、資料 3 の 5 の 16 頁から榊引の部分について記載している。

#### 【D 委員】

市の基本になるのは市の総合計画があって枝分かれでそれぞれの計画がある。福祉計画は行政の地域福祉計画と、社協には活動計画もある。やはり振興計画の中に福祉的なものを入れると、先ほど課長も言っていたが、枝分かれでその最後の方に出るということで、全て網羅して入れるのは難しいと感じる。

#### 4. 懇談

##### (1) 榊引地域振興計画（最終案）

#### 【支所長】

一般の方は、総合計画があること自体知らないもので、どのように周知したら一般の方々に伝わり、地域も一緒にやっていく雰囲気になるのか。原案として 18・19 ページに具体的に出しているが、ほかにこうした方がいいという意見があれば出してほしい。

今まで会議に出ている委員の方々は分かると思うが、一般の方の目線でどういう形式がいいかなどお聞きしたい。

#### 【会長】

この榊引振興計画の冊子版は全戸配布してないのか。

### 【総務企画課長】

5年前の振興計画策定の際も、冊子は全戸配布していない。計画の柱と施策の基本方針と主な施策を記載した文字ばかりのもの、施策のイメージ図・相関図を記したもので両面刷りワンペーパーのみを全戸配布した。

今回も前回同様に、計画の概要とイメージ図をベースにした資料のみでの全戸配布を考えている。振興計画については市のHPにデータを貼り付けして、今はデジタル化が普及しているので全戸配布の資料にQRコードを付するなど、計画全体を見ることができるような誘導をして対応したいと考えている。

### 【B委員】

前から少子化対策・後継者不足の対策を行っているが、支所長の挨拶にもあったが、給食や医療費の無償化をやっているが、それでもまだ少子化が収まらない。こういう状況で今後役所はまた別の対策を何か考えているのか。

### 【支所長】

子育て支援は何か一つやれば劇的に変わるのではなく、様々なことをやって少しずつ変わってくるものだと思う。

今の政策としては、保護者の負担を軽減する施策や、健全育成という視点で遊び場の充実ということなどがあげられる。

国の制度を基本に、各自治体が地域に合った支援策を講ずるべきと考えている。

### 【B委員】

現在、農業従事者の年齢は、60代半ば以上が7、8割を占めており、もう10年経つと残りの2、3割の人たちで農地を管理しなければならない状況となることが予想される。その方々が、櫛引全体の農地を管理することには無理があり、耕作放棄地や荒地地等が増えると考えられるが、これは後継者がいないことや少子化が一番の原因であり、この対策に予算を多く使ってほしい。後継者がいないことから各集落の行事ができないなど、全てに関わってくる問題である。何かを造っても受け継ぐ人がいなければ負の遺産になってしまう。人を増やさなければ、地域が廃れていく。

### 【支所長】

産業に限らず文化もそうであるが、後継者がいないことによって様々なことが継承しづらくなっている。農業に関しては、現在、国が中心となって「地域計画」の作成を行っているが、これはおおむね10年後を見据え、市の職員や関係者が各集落を回り農家の皆さんとともに目指すべき将来の農地利用の姿を明確化しているものである。

### 【産業建設課長】

産業建設課でも担い手の問題は重く受け止めている。未来事業の中でも果樹生産者実態把握調査等を行い、対策を講じたいと考えている。

### 【総務企画課長】

市全体だが、市では移住定住対策ということで、地域振興課の斎藤さんも出席しているが、奨学金を手厚くしてUターンを促したり、移住してきたいという方の相談窓口をやっている。

### 【地域振興課 斎藤専門員】

鶴岡市の移住定住政策を紹介

- ・首都圏の「全国移住フェア」に鶴岡市で出展（移住相談に対応）
- ・鶴岡市（県連携）で移住希望者支援（米・味噌・醤油1年分贈呈、家賃補助、移住支援金）

### 【B委員】

特に果樹は、定植から収入入るまで数年かかるので、切らないうちに引き継いでもらう方が新しく入る人も楽だと思う。うまくマッチングさせて、維持できるようにしてほしい。

### 【F委員】

今回の計画は2028年までの5年の計画だが、全体的にこういうやり方しかないかと思うが、今後5年後に必ず人が減ってくるわけなので、その辺も重点的に考えた計画も必要だと思う。これから5年後になると思うが、その時に人口減少対策も必要なので加えた方がいいと思う。

### 【総務企画課長】

人口減少対策は全市的な事項で、総合計画の方で語られるべき内容であり、振興計画は櫛引地域に特化して推進していく施策を記載するものなので、すべてを網羅した計画にはなっていない。今回は計画期間10年のうち後期分を見直しということで、大きく内容を変えるような計画になっていないこともご理解いただきたい。

今回の計画策定では、前計画を踏襲しつつもゼロベースから作り上げる計画となる。その際は、より人口減少を見据えた施策、人口規模にあった施策という視点も含めて、計画の立て方に工夫が必要と考えている。

### 【F委員】

人が減ればこの計画も根底から崩れるので大事だと思う。

### 【A委員】

赤川かわまちづくり事業については、当地区が整備に関わりがあることから区長が説明会に出席しており、そのときに令和7年度から櫛引地域にも取り掛かるというような説明を受けている。そのことを我々役員は区長からお聞きしたが、地元住民にもどのような形で整備をするのかなど、将来的に当地区が維持管理を行うことも想定されることから周知いただきたい。

### 【産業建設課長】

皆様からのご意見を丁寧にお聞きし、その都度説明していきたいと思うので当事業についてご協力をお願いします。

### 【支所長】

概要版については、18、19ページの様な感じで印刷して配布してよろしいか。何か意見あれば出してほしい。

### (2) 令和6年度櫛引庁舎重点施策

### 【H委員】

「高齢者生きがいをもって安心して生活できる地域づくりの推進」で、文面の中に避難者行動要支援者支援システムの本格的な運用に伴いとしているが、運用できる状態になっているのか。未定で何年を目途に運用するとか決まっていないのか。

### 【市民福祉課長】

このシステムはすでに運用している。櫛引は、支援者の把握や避難計画については民生児童委員が中心に作成している。

### 【H委員】

具体的にそれに基づいて各地区で訓練等は行っている状況なのか。最近能登の地震があった

ばかりで、地震などいつ災害が来るか分からない状態だと思うので、支援者をきちんと各地区で情報共有して確認しているのか。個人情報で地区民には周知されていない状態だと思うが、その辺はどうなのか。

### 【市民福祉課長】

計画については、民生児童委員と区長さんに情報共有している。有事の時はこれを元に避難させるということになるが、訓練については地区毎になるので訓練までは把握していない。

### 【H委員】

私の地域はその点は整っているという解釈で良いですね。それからこれはお礼だが、このページの資料にお役立ち講座リストあるが大変助かっている。細かく載っていて助かる。婦人会の方と高齢者の体操教室の方でも活用している。

### 【I委員】

櫛引夏イベントは、令和6年度は実施する方向で進んでいるということであるが、地域をあげてイベントを行えば、地域活性化に繋がり良いことだと思う。大変とは思いますが頑張ってほしい。

次に宝谷地内の道路拡幅工事であるが、何年間にもわたって実施している。予定では、令和7年度までに終了する計画であるが、毎年予算が無いということで、わずか50mほどの工事しかできていない。辺地債をどの位投入してもらえるかは分からないが、できれば早急に進めてもらいたい。宝谷にはそば屋があり、他県から来店する車も増えてきたが、道路が狭く交差するのも不便で危険である。

### 【産業建設課長】

櫛引夏イベント、くしびき夏まつりは、何とか復活させたいと思っているので、皆さんからのご協力もお願いします。

宝谷地内、宮の下宝谷線の道路拡幅は、なるべく早い完成を目指し本所土木課とも調整しているが、市全体の道路整備計画や辺地債とはいえ借金に変わりはなく、全体的な調整もあるためご理解いただきたい。

### 【I委員】

辺地債がうちの方にあまり来なくて他所の方に回っていると噂話があるので、うちの方に有効に活用していただきたいと思う。

### 【総務企画課長】

辺地債については、役所（庁舎）から離れている集落などが対象であり、そういった所同士での割り振りはあるが、基本的に辺地以外の場所の整備に使われることはない。ただし、起債枠は国・県からの配分という性格もあるので市でコントロールできない部分があることはご理解いただきたい。

### 【K委員】

櫛引フルーツ振興プロジェクト事業については、園地継承の支援体制構築に向けた生産者の実態把握調査と意見交換会の実施が予定されており、予算は大幅に増額要求しているとお聞きした。ついては、実態把握調査をどのぐらいの範囲で行う予定があるのか。また、意見交換会をどのような人選で回数はどのぐらいを考えているのかお尋ねしたい。また、産直めぐりとしても園地継承に何らかの形でご協力できる場がないか検討している。この意見交換会に参加したいと考えおり、ご案内をいただければありがたい。

### 【産業建設課長】

実態把握調査については、モデル地区として令和 5 年度に西荒屋地区は実施済みであり、令和 6 年度に赤川左岸側、令和 7 年度に右岸側の果樹農家を対象に行うこととしている。

意見交換会は、2 回を予定している。

### 【支所長】

今回は、果樹農家の比較的若い方と、60 代前後の担い手を交えて 10 人程度で行った。

話し合いの中から、いいアイデアが生まれることを期待しているが、先ほどのお話であぐりからも加わってもらえるとのことなので、案内したいと思う。

### 【産業建設課長】

今年度は、山形大学の平先生をお招きして開催したが、先生からは毎月やっても良いのではないかというご意見もいただいた。そのことも加味しながら、臨機応変な形で実施し、多くの方々のご意見を頂戴したいと考えている。

### 【C委員】

観光協会としては、櫛引地域の観光果樹園の減少が大変気がかりである。どうしたら復活できるのか、収入を上げることができるのかなど、櫛引庁舎からも検討いただき、そして実践してほしいし、観光協会としても支援していきたい。

夏のイベントについては、商工会櫛引支部では続けたいという意向であり、そのための実行委員会を組織する予定であるが、できれば櫛引庁舎が主体となってもらえれば大変ありがたい。夏のイベントは、年度当初から取り組む必要があると思うので配慮いただきたいし、農協からも積極的に関わってもらいたい。地域あげてのイベントにするため、そのように運んでいただきたい。

朗読劇「柏戸少年紀」は、櫛引生涯学習センターの担当者から来年度も今年度と同じものを実施したいし、より多くの方から観てもらいたいとの話があった。首都圏櫛引会等の組織に声をかけるなど、総合的に幅広く周知すれば興味のある方も増えると思うので検討いただきたい。

水焔の能は、今回 40 回目を文化会館でやるようだが、今までのように屋外での開催は今後実施しないのか。地元から離れているという訳ではないが、文化会館で開催しそれを 40 回記念の水焔の能にするということか。

### 【産業建設課長】

観光果樹園が減っている件については、果樹生産者実態把握調査等を実施する中で、検討していきたいと考えている。

夏のイベントについては、現在も庁舎と商工会とで打合せを行っており、庁舎としてもできる限りのことはやっていきたい。

朗読劇「柏戸少年紀」については、先週櫛引生涯学習センターの担当者と打合せを行い 2 日間で 3、4 回の公演を実施する中で、できれば旅行商品にもならないかなどの相談を受けている。今後、横綱柏戸記念館活性化推進委員会も開催されることから、その中で話を詰めていきたい。

水焔の能については、40 回目ということと、櫛引ゆかりの偉人展も開催することから、今回は天気の心配の無い荘銀タクト鶴岡の中で両方開催し、より大勢のお客様から見ていただいた方が演者にとっても良いのではないかという考えから進めているもので、今後もずっとこの会場でやるのかは決まっていない。どの会場が良いのかも含め、持続可能で皆さんがやりやすい方法を検討し、続けていきたいと思っている。

### 【C委員】

黒川能役者の上野由部さんは今日欠席だが、今年の王祇祭でいろんな行事が縮小されたと聞いて聞いた。豆腐焼きがなくなったり、切り和えが出なかったりと。時代とともにお祭りの形態も変わっていくのは仕方ないことで、後継者問題も苦労しているとは思いますが、守るべきとこ

ろは守って欲しい。守って長くやっていく間に変化していくものと、ある時、大変なのでやめる、やめた方がいいという感覚のものなのか。500年600年続いてきたものがそういうものだったのかと、これで本当に黒川のお祭りが続くのだろうかという思いがある。

行政に言うのもどうかと思うが、地域の伝統と文化芸能を守るのは大きな問題だと思う。お祭りだけ、能だけが全てではないと思うが、それだけ続いてきたものが廃れていくというか、変化して合理化されるというか、これを守る努力というのは相当力を入れないとやれないと思う。そこにどう手を差し伸べたらいいのか、やるのは行政かと思うので、遠藤さんは地元についてどう思っているのか聞きたい。

### 【総務課企画課長】

なかなか難しい問題だと思う。携わる地元民として、あくまで私見になるが。王祇祭も500年ずっと同じやり方をしてきたわけではなく、昔は4日間かけてやっていた時期もあると聞いたことがある。つまり時代時代が変わってきて、今の形も昔と同じではないため、変化すること自体は、私は悪くないと思う。今後は、守るべきことは守り、簡素化できるところは変えていくことが必要と思う。とにかく昔のやり方をそのまま守って、もうできないから祭り自体をやめよう、1,000年以上続いた蘇民祭が急に無くなったように、そういう形は避けたいと思う。

行政からの支援の在り方についても（両方に携わっているものとして）、市には多くの文化財やお祭りがあって、それらとの平等性の観点、現在も黒川能に対しての支援は行われていて、さらに王祇祭に特化した支援をどのようにしていくかは難しい課題だと思う。会長も関係者だが、持続可能なやり方やどういう支援が必要なのかを関係者と話し合っていきたいと思う。

### 【会長】

今年は、下座は豆腐焼きをやったが、上座はやらなかった。豆腐焼きをやるやらないは当事者に任せると判断をした。豆腐焼きはメインイベントに近い。王祇祭よりも豆腐焼きの方が手間がかかるため、親戚にも負担がかかる。豆腐焼きに3日間かかるが仕事を3日間休めず土日の2日間でやれる範囲内で間に合わせたとのこと。来年は今年の反対で、上座はやるが下座はやらない。豆腐焼きはやる家とやらない家が出てくる。親戚が協力できる人はやるが、協力できない状況であれば出来ないと判断する。

能も通常は5番を朝までやっていたが、今は3番で2~3時に終えて役者の負担が楽になった。3時に一旦帰宅し朝7時頃まで体を休めて、また神社に集まり夕方まで頑張れるという体制が取れる。そのため、また5番に戻すのは大変だと思う。当屋でも一旦3時に終えてもらい、少し休んでまた頑張れるサイクルになったので、それはそれでいいと思う。あと、子どもが少なく5番やれる人を集めるのは無理になった。大地踏みも1回ではなく2回やらないと間に合わないとの話も出ているが、どう解決していくか難しい。課題が多くあるが、昔のようにやる、やってほしいというのは難しいのが現状だ。

それから1つお聞きしたいが、40周年記念だから上座と下座一緒にやるということなのか。

### 【産業建設課長】

まだはっきりと上座下座の両座でやるというような細かな部分までは決まっていない。

### 【会長】

これまでは交互に開催しており、順番では上座であるが上座下座の両座で行うとなると、考え方が変わってしまうが。

### 【支所長】

昨年の秋に開催した関係者会議において、令和6年度はより多くの皆さんから鑑賞いただきたいと櫛引庁舎から提案したところ、上座下座の両座で出た方が良いのではないかという意見があったため、それに合わせて予算要求した。来月中頃に関係者会議を開催するので、再度関

係者と相談する。

### 【G委員】

夏のイベントの件だが、前は櫛引商工会として独立してやっていたし、農協もやっていた。それから一緒にやったらいいのではと合併して1つでやったが、農協でやらないとなった。やはり時代が変わってきたということで、実際今商工会でやるとしたら大変だと思う。会員もいない、出店も全部地元でやっていたが、そういう店もだんだん無くなってきたので、これはなかなか難しい問題だと思う。当局は声かければいいのではと言うが実際やるには口で言うほど簡単ではない。その辺もサポートしてくれればいいが、そうでないと容易でない。

それからもう1つだけ質問したい。黒川能の場合、下座・上座、それぞれ戸数がいくらかで何世帯がこの座中に入っているのか分かるか。

### 【総務課企画課長】

だいぶ減ってきていることは承知しているが、正確な数字は持ち合わせていない。

### 【G委員】

分からないということは調べてもいないということ。そういうことが原点だと思う。ただ上から声かけてあれやれこれやれというのは誰でもできることで、でもそれは行政として最低だと思っている。これだけでなしにやはり声を掛けるには努力をする、アドバイスしてもらわないと何も出来ないと思う。ただ唱えることは誰でもできる。でも、実際やるにはお金も人手もかかることであるので。このことでなしに全部これからのことについて、そういう考え方をしてもらわないと、何も実行にいかない。ただ、言葉を並べていいことしようとすることも出来ないと思う。

### 【支所長】

夏のイベントなどもそうだが、やはり関係者の方々から現場の状況を聞きながら進めていきたいと思うので、よろしく願います。

### 【A委員】

私の方から1つ、馬渡線に照明があるが大変有難い。今年は馬渡川の浚渫を少しやっていたが、これは継続的に、少しずつ限られた予算の中だと思うがやって欲しい。川まちづくりの方にも直結するので、見栄えも悪いので浚渫はよろしく願いたい。

### 【E委員】

道路関係についてであるが、板井川から松根に向かう路線で東荒屋、西片屋地内の水道管を敷設したところが沈下したため、雨が降ると水たまりができ自転車で走行しようとしても外側線付近しか通行できず、走行に苦慮している。雨天時に現場を確認し対策を講じてほしい。また、櫛引庁舎前の道路に縦に溝ができていてる箇所があり、歩行者がつまづき転倒する恐れがあるため、拡大する前に補修すべきである。公共施設があるところは、頻繁に車が往来するため、道路状況の確認をすることが望ましい。

### 【産業建設課長】

櫛引庁舎でも定期的に市道のパトロールなどを実施し、また、皆さんからも教えていただきながら修繕に努めているが、なかなか追いつかず大変申し訳なく思う。

### 【E委員】

西片屋は、観光果樹園もあり他所からの車も多く来るので整備してほしい。



**【産業建設課長】**

計画を立てながら、整備、修繕していきたい。

**【C委員】**

鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業については、この予算で六十里越街道の草刈り整備なども実施できるのか。

**【産業建設課長】**

この予算は、業者によるマーケティング調査やワークショップ等の委託料なので、街道の草刈り整備などには使えない。櫛引地内の街道整備は、まず現場を見て自分たち市の職員で草刈り等をやってみようと考えている。

以上